

北海道高等学校教育研究大会 第61回(60周年記念大会) 大会案内

研究主題	北海道の新たな時代を拓く高等学校教育の創造
大会期日	令和6年(2024年)1月11日(木)、12日(金)
主催	北海道高等学校教育研究会
後援	北海道教育委員会 札幌市教育委員会 北海道高等学校長協会 北海道私立中学高等学校協会 公益財団法人日本教育公務員弘済会北海道支部

《第1日目》 全体集会 令和6年(2024年)年1月11日(木)

場所	カナモトホール(札幌市民ホール) 札幌市中央区北1条西1丁目 札幌市営地下鉄「大通駅」下車5分
日程	12:00 ~ 13:00 受付 13:00 ~ 13:40 開会式 13:40 ~ 15:40 全体講演

鼎談型記念講演

トークテーマ 「ポストコロナでよく生きるために

～「利他」から見えてくる景色とこれからの高等学校教育～

トークメンバー



東京工業大学 科学技術創成研究院 未来の人類研究センター長
リベラルアーツ研究教育院 教授

伊藤 亜紗 氏

専門は美学、現代アート。もともと生物学者を目指していたが、大学3年次より文転。2010年に東京大学大学院人文社会系研究科基礎文化研究専攻美学芸術学専門分野博士課程を単位取得のうえ退学。同年、博士号を取得(文学)。MIT客員研究員(2019)。主な著作に『目の見えない人は世界をどう見ているのか』(光文社)、『どもる体』(医学書院)、『記憶する体』(春秋社)、『手の倫理』(講談社)。第13回(池田晶子記念)わたくし、つまりNobody賞、第42回サントリー学芸賞、第19回日本学術振興会賞、日本学士院学術奨励賞受賞。



東京工業大学 科学技術創成研究院 未来の人類研究センター
リベラルアーツ研究教育院 教授

山本 貴光 氏

専門は学術史、ゲーム。大学卒業後、ゲーム会社でプログラムや企画の仕事をしていましたが、気づいたら物書き、そして大学の先生になっていました。金沢工業大学客員教授。主な著作に『文体の科学』(新潮社)、『「百学連環」を読む』(三省堂)、『文学問題(F+f)』(幻戯書房)、『マルジナリアでつかまえて』(本の雑誌社)、『記憶のデザイン』(筑摩書房)など。共著に『脳がわかれば心がわかるか』(吉川浩満と、太田出版)、『高校生のためのゲームで考える人工知能』(三宅陽一郎と、筑摩書房)、『世界を変えた書物』(橋本麻里と、小学館)など。



東京工業大学 科学技術創成研究院 未来の人類研究センター
リベラルアーツ研究教育院 講師

多久和 理実 氏

専門は科学史、特に近代物理学史。物理学と科学史のバックグラウンドを活かして漫画やテレビ番組の監修も行う。2010年、東京工業大学理学部物理学卒業、2010年9月から1年間、ボローニャ大学に交換留学生として留学。2014年9月から1年間、日本学術振興会特別研究員としてガリレオ博物館に滞在。2016年、東京工業大学大学院社会理工学研究科博士課程修了。2019年、学術博士。監修したマンガに、蛇蔵&鈴木ツタ・たら子『天地創造デザイン部』のほか、蛇蔵『決してマネしないでください。』、石川雅之『惑わない星』、企画協力したマンガに石黒正数『天国大魔境』など。

《第2日目》 教科別集会 令和6年(2024年)1月12日(金) ※情報部会のみ10日(水)

部会	主 題	30	9:00	30	10:00	30	11:00	30	12:00	30	13:00	30	14:00	30	15:00	30	16:00	30
国語	これからの時代に求められる資質・能力を育む国語教育の創造 子どもたちの感性を刺激する国語教育		設 営	受 付	開 会 式	講 演 立正大学文学部哲学科 教授 野矢 茂樹 氏	休 息	昼 休 み			研 究 発 表						閉 会 式	
地歴 公民	「社会的な見方・考え方」を育てるICTを効果的に活用した授業の在り方		受 付		開 会 式・ 総 会	(世界史)講演 北海道教育大学札幌校 講師 星 瑞希 氏 (日本史)講演 伊達市教育委員会生涯学習課文化財係 係長 永谷 幸人 氏 (地理)講演 石狩市総務部危機管理対策課 主査 鶴沼 雄一 氏 (倫理・公共・政治経済)オンライン講演 元外交官 佐藤 優 氏	休 息	昼 食			研 究 発 表・ 協 議 各 分 科 会 ご と						閉 会 式	
数学	数学的活動を充実させ、 数学的に考える資質・能力を育成する数学教育	準 備	受 付	9:20 開 会 式	研 究 発 表 研 究 協 議	休 息	11:15 講 演 東北大学大学院理学研究科数学専攻 教授 正宗 淳 氏	質 疑 応 答	12:45 閉 会 式	後 片 付 け								
理科	自然科学の見方・考え方を育成するための理科教育 科学的に探究する力を育む指導法の研究・実践 自然の事物・現象に主体的に関わらせる実験・観察の研究・実践		受 付		研 修	開 会 式・ 総 会	全 体 講 演 東京大学 非常勤講師 元法政大学 教授 左巻 健男 氏	休 息		(物理)講演 北海道大学量子集積 エレクトロニクスセンター 教授 葛西 誠也 氏 (化学)研究発表 研究協議 (生物)講演 北海道大学大学院理学研究院 教授 黒岩 麻里 氏 (地学)講演 徳別博物館 館長 桜井 和彦 氏 (理科総合)講演 京都高等教育研究所 代表 内村 浩 氏	休 息	研 究 発 表 研 究 協 議					分 科 会 ご と 閉 会	
保健 体育	令和の日本型学校教育の構築に向けた保健体育授業		受 付		開 会 式	講 演 北海道医療大学 看護福祉学部看護学科 教授 塚本 容子 氏	高 研 究 連 発 表 部	休 息		研 究 発 表 研 究 協 議		道 教 委 イ ン フ ォ メ ー シ ョ ン 好 評・ 助 言					閉 会 式	
養護	現代的健康課題の解決に向けた学校保健活動の推進をめざして		9:20 受 付	9:40 開 会 式	9:50 講 演 順天堂大学大学院医学研究科・医学部 教授 小林 弘幸 氏	11:50 総 会	12:10	昼 食		研 究 発 表		14:50 情 報 提 供	15:20 閉 会 式	15:40				
芸術	豊かな心や創造性を涵養する芸術教育		受 付	10:20 開 会 式	10:35 講 演 美術家 中崎 透 氏		昼 食			分 科 会 I (研 究 発 表)13:00~14:00 分 科 会 II (研 究 協 議)14:10~15:10		15:10 休 息・ 移 動	15:20 研 究 協 議	15:50 実 践 報 告 部 会 総 会	15:55			
英語	21世紀に生きる地球市民を育む英語教育 ~新しい流れに対応する授業をめざして~ English Education in the 21st Century-Fostering Global Citizenship ~ In Pursuit of New Wave of English Teaching ~		受 付	開 会 式	講 演 東京国際大学教授 立教大学名誉教授 松本 茂 氏		昼 食		研 究 発 表	休 息	研 究 発 表	14:50 閉 会 式						
家庭	生涯を見通してよりよい生活を創造する力を育む家庭科教育		9:20 受 付	9:40 開 会 式	10:10 講 演 北海道文化財団 理事長 磯田 憲一 氏		昼 食・ 休 息			研 究 発 表・ 研 究 協 議		講 評	15:20 閉 会 式					
農業	国際化と情報化に対応した農業教育の推進 地域農業と融合を図った学校農場づくり		受 付	開 会 式	10:10 講 演 株式会社セコマ 代表取締役会長 丸谷 智保 氏	11:40 連 絡	昼 食			研 究 協 議 (研 究 発 表・ 報 告) 及 び 助 言		閉 会 式	15:20					
工業	社会の発展に貢献する工業教育の創造と実践		受 付	開 会 式	講 演		昼 食			I C T 研 修		研 究 発 表 研 究 協 議					15:45 閉 会 式	
商業	未来を拓く有為な人材を育成するビジネス教育	設 営	受 付	開 会 式 総 会	10:10 講 演 株式会社FundA 取締役 公認会計士 住永 匠 氏	11:40	昼 食		研 究 発 表 ①	研 究 発 表 ②	13:40	14:20 研 究 協 議					15:50 閉 会 式	
水産	変化の激しい時代をきり拓く水産・海洋教育はいかにあるべきか	事 前 打 ち 合 わ せ	受 付	開 会 式	講 演 株式会社日本旅行北海道 営業企画部 永山 茂 氏		休 息			研 究 発 表 研 究 協 議		研 修 報 告	講 評	部 会 総 会	閉 会 式			
情報	「情報I」指導内容と方法の工夫・改善 面白い、わかる授業を目指して	受 付	開 会 式	ワ ー ク シ ョ ッ プ			企 業 展 示 昼 食			講 演 東京大学大学院情報理工学系研究科 情報理工学教育センター次世代知能科学研究部門 教授 松原 仁 氏							閉 会 式	

教科別集会開催方法 (現時点での情報であり、変更になることが考えられます。最新情報は高教研ホームページをご確認ください。)

部会	会場名	所在地	交通機関	配信の予定
国語	北海道商科大学	札幌市豊平区豊平6条6丁目10番	<ul style="list-style-type: none"> 地下鉄東豊線「学園前駅」(4番出口)直結 じょうてつバス [環56] 「学園前駅」下車すぐ 地下鉄東西線「菊水駅」(6番出口)徒歩12分 地下鉄南北線「中島公園駅」(1番出口)徒歩15分 地下鉄南北線「平岸駅」(1番出口)徒歩15分 	ZOOMでの オンライン配信
地歴 公民	北海道有朋高等学校	札幌市北区屯田9条7丁目	地下鉄南北線麻生駅より中央バス <ul style="list-style-type: none"> [麻17]系統「石狩庁舎前」行き約17分「有朋高校」下車 徒歩約3分 [麻07]系統「屯田6条12丁目」行き約16分 「有朋高校」下車徒歩約3分 [麻08]系統「石狩庁舎前」行き約14分 「イトーヨーカ堂屯田店前」下車徒歩約13分 [麻01]系統「屯田6条12丁目」行き約10分 「屯田小学校」下車徒歩約13分 地下鉄栄町駅より中央バス <ul style="list-style-type: none"> [栄19]系統「石狩庁舎前」行き約9分「屯田小学校」下車 徒歩約13分 	未定
数学	札幌エルプラザ	札幌市北区北8条西3丁目	<ul style="list-style-type: none"> JR「札幌駅」(北口)から徒歩約3分 地下鉄東西線、南北線、東豊線「さっぽろ駅」から地下歩道 (12番出口)を出て徒歩約3分 地下鉄南北線「北12条駅」から徒歩約6分 	なし
理科	学校法人西野学園 札幌医学技術 福祉歯科専門学校	札幌市中央区南5条西11丁目1289-5	地下鉄東西線「西11丁目駅」(2番出口)より徒歩7分	なし
保健 体育	かでの2.7 北海道立道民 活動センター	札幌市中央区北2条西7丁目	<ul style="list-style-type: none"> JR「札幌駅」(南口)徒歩13分 地下鉄「さっぽろ駅」(10番出口)徒歩9分 地下鉄「大通駅」(2番出口)徒歩11分 地下鉄「西11丁目駅」(4番出口)徒歩11分 JRバス「北1条西7丁目停留所」徒歩4分 中央バス「北1条西7丁目停留所」徒歩4分 	なし
養護	かでの2.7 北海道立道民 活動センター	札幌市中央区北2条西7丁目	<ul style="list-style-type: none"> JR「札幌駅」(南口)徒歩13分 地下鉄「さっぽろ駅」(10番出口)徒歩9分 地下鉄「大通駅」(2番出口)徒歩11分 地下鉄「西11丁目駅」(4番出口)徒歩11分 公共地下歩道 (地下歩行空間から北1条地下駐車場連絡口経由1番出口) 徒歩4分 	なし
芸術	札幌大谷大学	札幌市東区北16条東9丁目1番1号	<ul style="list-style-type: none"> 地下鉄東豊線「東区役所前」下車(2・3番出口)徒歩7分 地下鉄東豊線「環状通東」下車(1番出口)徒歩7分 中央バス [東17] 北光線「大谷学園前」下車徒歩5分 中央バス [東19] 北光・北口線「大谷学園前」下車徒歩5分 	なし
英語	北海道文教大学	恵庭市黄金中央5-196-1	JR「恵庭駅」下車(東口)徒歩12分	なし
家庭	札幌エルプラザ	札幌市北区北8条西3丁目	JR「札幌駅」(北口)より徒歩3分 (札幌駅北口地下歩道12番出口横建物の中まで直通)	なし
農業	ホテル ライフオート札幌	札幌市中央区南10条1丁目1-30	地下鉄南北線「中島公園駅」(1番出口)より徒歩約3分	なし
工業	北海道札幌琴似 工業高等学校	札幌市西区発寒13条西11丁目3-1	<ul style="list-style-type: none"> 地下鉄「宮の沢駅」徒歩1.9km約25分 地下鉄「宮の沢駅」徒歩300m「宮の沢バスターミナル」 [JRバスor中央バス]「琴似工業高校前」乗車約7分 JR「発寒駅」徒歩1.5km約20分 JR「発寒中央駅」徒歩1.8km約25分 JR「発寒中央駅」「発寒中央駅停留所」JRバス [52] 「琴似工業高校前停留所」(乗車約8分) 	ZOOMでの オンライン配信
商業	北海道大学 学術交流会館	札幌市北区北8条西5丁目5	JR「札幌駅」(北口)より徒歩10分 北海道大学正門より入って徒歩1分(左側2棟目)	ZOOMでの オンライン配信
水産	北海道小樽水産 高等学校	小樽市若竹町9番1号	<ul style="list-style-type: none"> JR「小樽築港駅」下車徒歩5分 JR「小樽駅」中央バス(桜町、新光町行き)乗車、 「小樽築港駅」下車徒歩5分 	なし
情報	北海道札幌北 高等学校	札幌市北区北25条西11丁目	<ul style="list-style-type: none"> 地下鉄南北線「北24条駅」(1番出口)から徒歩約13分 JR学園都市線「新川駅」出口から徒歩約15分 	あり

※各会場ともに冬期は特に駐車場はありませんので、自家用車はご遠慮ください。

※会場への交通機関は高教研公式サイト各教科ホームページをご覧ください。



◎大会参加申込

申込方法 大会参加を希望する方は、学校長または所属長を通じ、各学校または所属機関ごとに、直接本部事務局までお申し込みください。
なお、参加申込要領は北海道高等学校教育研究会のホームページでご確認ください。

申込期間 参加申込の受付期間は、11月20日（月）から11月30日（木）までとなっています。
この期間を過ぎたら、当日会場に設けた「当日参加受付」で参加手続きを行ってください。

参加料 会員の方は、2000円、非会員の方は、3500円となります。参加申込要領に従って、各学校、または、所属機関ごとにお支払ください。
高等学校教員の方は2日間のいずれかしか参加できない場合でも参加料は同じです。一般参加の対象となりません。

・今回は情報部会が別日程の1月11日（水）の開催となっています。そのため他の教科別集会上に申し込んだ方も、情報部会にも参加することが出来ます。（参加料は別途申し受けます（会員2000円、非会員3500円））

・2つの教科別集会上に参加する場合は、各校で保存されている登録名簿の下にお名前をもう1度付け加えて記載してください。

一般の方の参加料は、1日目の全体集会在1000円、2日目の教科別集会在1500円となります。
なお、一般の方への会報と研究紀要のお届けはありませんので、ご了承ください。

大会参加証 「参加証」は、12月中旬までに、学校長または所属長あてにお送りしますので、お受け取りください。
この参加証は、研究大会1日目の全体集会的受付で、「大会要項」と引き換えになりますので、大切に保管してください。
また、リモートで開催する教科別集会的の視聴に必要な事項が記載されています。
教科別集会的の会場へもご持参ください。

【お願い】 参加申込や参加料の納入が遅れると、参加証の発送作業が遅れます。早めの手続、ご協力をお願いします。

◎大会受付

受付要領 参加証のうち「全体集会在：参加証（兼大会要項引換券）」を切り取って全体集会的の受付に提出し、「大会要項」をお受け取りください。
参加証には、あらかじめ「氏名」、「学校名」を記入のうえ、全体集会的の受付に提出し、「大会要項」をお受け取りください。

事務局より

60年という年数は、ひとくちに「還暦」とは言っても、どれくらいの年月の実感でしょうか。筆者が子供の頃、「60歳の人」というのは率直にはお年寄りの印象を持っていたのは子供ながらの感覚でも、先輩の先生方を間近に見るだけでなく、筆者自身「60歳」という年齢が近付いて実感することは、「ここまであつという間」「これから先もまだまだこれから」というのが本音でもあります。してみると60年という年数は、「ここまで長い年数ではない」という仮説を立ててみます。

高等学校教育研究会の第1回大会が開催された1963年（昭和38年）、東海道新幹線が開通するのは翌年です。「見上げてごらん夜の星を」が流行し、NHK大河ドラマの第1作「花の生涯」が放送され、アメリカではケネディが狙撃され、国内では伊藤博文の1000円札が発行されたのがこの年です。この文章をお読みの現職の先生方の多くは生まれる前の話題でしょうが、少し上の世代の方はこの当時を思っ「かなり大昔だ」と思うでしょうか、筆者はそこに興味があります。きっと「ここまで長い年数ではない」という仮説のもとで、当時を知っている人には「ついこの前のこと」なのかもしれません。

そう考えると、この60年での世の中の変化は時期の緩急こそあれ、かなり「あつという間の時間でも変化の大きな60年」として良いと思います。そして1963年時点で2023年の世の中がどれだけ想定できたか、そしてその未来予想はSFでもいいので、どこまで実現可能性として考えられていたのでしょうか。当時の記録を繙くのは容易でも、逆に今から60年後も同じように「あつという間の未来」であり、それでいて「想定範囲」を遥かに超えていること、流行語の「VUCA」を持ち出すまでもなく、変化の速度が年々加速しているのは確かです。

その想定範囲を大きく超える未来予想図を描くこと、どうせ描くなら「より楽しい未来」を想定したいです。

その思いを日々の教育活動を通して未来ある高校生に託すために、先生方が「わくわくするような思い」が実現できるような60周年記念大会にできればという思いで事務局として目下準備をしております。

高教研本部事務局

〒064-8535 札幌市中央区旭ヶ丘6丁目5-18 市立札幌旭丘高等学校内

Tel 011-513-2238 Fax 011-513-2244

e-mail d-kokyoken@sapporo-c.ed.jp